学校法人専修大学　令和４年度決算概要

学校法人専修大学の令和４年度事業報告・決算は、5月25日開催の理事会・評議員会で承認され、確定した。

事業報告概要

学校法人専修大学の「令和4年度事業報告書」をまとめましたのでここに報告（概要）します。2022年度は、2021年度より始動した学校法人専修大学中期計画の2年目として策定された「令和4年度事業計画」に基づき、事業を推進しました。計画策定時には、収束の見えない新型コロナウイルス感染症に伴うさまざまなリスクも視野に入れておりましたが、専修大学及び石巻専修大学では感染拡対策を徹底した上で、対面授業を再開しました。さらに10月中旬からは陽性者数が減少傾向にあることなどから課外活動等の制限も緩和しました。

専修大学では「Sーデータサイエンス教育プログラム」を全学部の学生を対象に開始しました。この教育プログラムは、近年急速に進むビッグデータやAI（人工知能）が駆動する情報化社会を生き抜く力を身につけ、社会の諸課題を解決する手段の一つを養うことを目的としています。また、学生の学修スタイルを一新し、卒業後のキャリア形成を視野に入れた改革のファーストステップとして、教育・研究用コンピューターシステムを従来のハードウエア中心のシステムからクラウド環境を利用するサービスに転換しました。

研究活動では、「ラオス国内における簿記教育の発展・普及に係る協力協定」の期間延長に伴って「複式簿記普及事業推進研究センター」が再設置されました。ラオス国内での簿記セミナー実施、検定模擬試験の改訂や現地関係者との打ち合わせ等が行われました。

学生の活躍では、難関国家試験である国家公務員採用総合職試験、公認会計士試験、司法試験などに多数の合格者を輩出しました。とのわけ国税専門官採用数では、全国トップレベルになっています。

スポーツでは、陸上競技部が3年連続71回目の箱根駅伝への出場を果たしました。さらに野球部4年次の菊地吏玖さん（投手）が、2022年プロ野球ドラフト会議で千葉ロッテマリーンズから一位指名を受けました。本学にとってドラフト1位指名は25年ぶりとなります。

石巻専修大学は、地域社会の知的基盤を支える存在として、教育研究活動を推進していくため、創立30周年を機に第一次中長期ビジョンを設定しました。教育研究活動において、「社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材の育成」を目指し、教職員一人一人が力を合わせて活動を展開しています。本年度は、第一次中長期ビジョンの3年目に当たります。

第一次中長期ビジョンに基づいて行ってきた学科改組やカリキュラム編成においては、時代の変化と社会の要請に対応し、独自性を発揮し、2021年度の経営学部情報マネジメント学科新設に続き、本年度は理工学部の教育課程新編として生物科学科と食環境学科を発展的に統合しました。また、機械工学科と情報電子工学科では学科横断型のカリキュラムやPBL型授業を取り入れ、情報に基づいてモノやシステムを創る両学科の融合性を高めました。人間学部では、人間文化学科でコース制の導入、人間教育学科はICTを取り入れた力リキュラム改定を進めました。

学校法人専修大学では、「専修大学・石巻専修大学「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」推進募金」について、多くの皆さまから趣旨にご理解をいただき、ご協力を賜りました。

なお、「令和4年度事業報告書」の詳細は公式WEBページをご覧ください。

【事業報告書】

1　資金収支計算書

〔概要〕
収入の部では、当年度収入合計が算比0・50%増の252億3367万円（前年度比では1・95%の増）となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比0・39%増の326億3658万円となっている（前年度比では0・09%の増）。

支出の部では、当年度支出合計が予算比0・38%増の255億3338万円（前年度比では1・30%の増）で、翌年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み71億332万円となっている（前年度比では4・05%の減）。

〔内容〕
(1) 収入の部
①学生生徒等納付金収入は、予算比0・03%増の202億304万円（前年度比では2・51%の増）。最終在籍者数が専修大学で7059人、石巻専修大学で1348人となり、全体では1万8407人。最終在籍者数は、前年度と比べ、全体で43人の増となっている。
②手数料収入は、予算比12・12%減の10億3172万円（前年度比では3・47%の減）。このうち、入学検定料収入は、予算比12・00%減の10億4112万円（前年度比では3・37%の減）。入学志願者数が予算と比べ専修大学で7105人の減、石巻専修大学で84人の減となっている。
③寄付金収入は、予算比25・76%増の2億5151万円（前年度比では85・53%の増）。専修大学、石巻専修大学「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」推進募金の募集を行っている。
④補助金収入は、予算比0・53%増の19億9332万円（前年度比では7・56%の減。このうち、国庫補助金収入は、予算比0・54%増の19億7964万円（前年度比では7・61%の減）で、経常費補助金のほか、授業料等減免費交付金及び研究設備整備費等補助金を含んでいる。
⑤資産売却収入は、予算比98・81%減の2388万円で、車両等の売却による。
⑥付随事業・収益事業収入は、予算比7・05%減の6億3568万円（前年度比では15・64%の増）。差異は「警察官・消防官試験講座及び市役所試験対策講座受講者、留学及び各種国際交流プログラム参加者、国際交流会館利用者、各セミナー・野毎用通学バス利用者、石巻通学サポートバス利用者の減等による。
⑦受取利息・配当金収入は、予算比4・11%増の5228万円（前年度比では138・36%の増）。このうち、その他の受取利息・配当金収入は、予算比4・11%増の5228万円（前年度比では138・36%の増）。このうち、その他の受取利息・配当金収入は、予算比4・11%増の5279万円（前年度比では138・71%の増）。差異は銀行預金利息等の増。
⑧雑収入は、予算比12・90%増の8億4981万円（前年度比では2・66%の増）。差異は、大学施設等の貸出、退職金財団交付金、科学研究費補助金、競技経費、関東学生陸上競技部協賛費等の増。
⑨借入金等収入は、予算比0・36%増の1444億5291万円（前年度比では0・24%の増）。退職金の増による。
②教育研究経費支出は、予算比3・07%増の887億（2億8447万円の増）。電気及びガス使用量の増、電気料金及びガス料金値上げ等による増。
③管理経費支出は、予算比3・15%増の71億（1・24億円の減）。家計急変奨学生、災害見舞奨学生、育友会奨学生等の減。
・修繕費支出：1億3725万円（3・140万円の増）
神田1号館窓ガラス交換及び給水管漏水補修、神田1―3号館1階広場タイル補修及び開閉屋根用電動モーター交換、神田8号館誘導灯及び外階段他照明器具交換修理、神田10号館教室プロジェクター修理及び15階録音修繕費の増）。差異は、大学施設等の貸出、退職金財団交付金及び前期末前受金で△43億7783万円となっている。

(2) 支出の部
①人件費支出は、予算比0・36%増の1444億5291万円（前年度比遅延等による減。
・光熱水費支出：8億1887万円（2億8447万円の増）
・消耗品費支出：2億8825万円（1906万円の減）
公務員試験講座教材費、印刷物の削減による
・図書資料費支出：億6947万円（1523万円の減）
洋雑誌出版減及び納品遅延等による減。
・光熱水費支出：8億1887万円（2億8447万円の増）
・修繕費支出：1億3725万円（3・140万円の増）
②教育研究経費支出は、予算比3・07%増の887億（2億8447万円の増）。
職金の増による。
③管理経費支出は、予算比3・15%増の71億（1・24億円の減）。
家計急変奨学生、災害見舞奨学生、育友会奨学生等の減。
・奨学費支出：15億3371万円（1・24万円の減）
・準備品費支出：3911万円（1258万円の増）
・光熱水費支出：1億3725万円（3・140万円の増）
④付随事業・収益事業支出は、予算比7・05%減の6億3568万円（前年度比では15・64%の増）。差異は「警察官・消防官試験講座及び市役所試験対策講座受講者、留学及び各種国際交流プログラム参加者、国際交流会館利用者、各セミナー・野毎用通学バス利用者、石巻通学サポートバス利用者の減等による。
⑤借入金等返済支出は、予算比3・51%増の1392億1192万円（前年度比では6・93%の増）。
予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。
・光熱水費支出：億1827万円の増）
・図書資料費支出：億6947万円（1523万円の減）
・修繕費支出：4797万円（1532万円の増）
・委託費支出：15億7568万円（3890万円の減）
会計士講座等各種課外講座、図書館関覧業務、受託研究委託業務、教学事務所管入材派遣業務、伊勢原雨天体育場建物耐震診断調査、石巻通学支援バス運行委託費等の減。
・謝礼費支出：8772万円（1338万円の減）
授業料目外部講師謝食堂洗浄機修繕等の増。
・公租公課支出：5805万円（1830万円の増）
消費税等確定申告額の増。
④借入金等利息支出は、予算どおりで155万円。
⑤借入金等返済支出は、予算どおりの返済で4億7777万円。
⑥施設関係支出は、予算比6・81%増の932万円の増。前年度比では3・98%の減。
（主な施設等整備事項）
専修大学
(1)神田2号館教室換気設備改良工事(2)生田8号館屋上階段足元灯設置工事
〔石巻専修大学〕
(1)1号館実験室及び端末室空調機更新工事(2)1号館教室及び廊下等照明器具交換工事(3)2号館実験室空調機更新工事(4)5号館コンピュータ室空調機更新工事(5)体育館男女更衣室空調機更新工事
⑦設備関係支出は、予算比0・36%増の1444億5291万円（前年度比遅延等による減。
・光熱水費支出：8億1887万円（2億8447万円の増）
・消耗品費支出：2億8825万円（1906万円の減）
公務員試験講座教材費、印刷物の削減による
用電動モーター交換、神田8号館誘導灯及び外階段他照明器具交換修理、神田10号館教室プロジェクター修理及び15階録音修繕費の増）。差異は、大学施設等の貸出、退職金財団交付金、科学研究費補助金、競技経費、関東学生陸上競技部協賛費等の増。
②教育研究経費支出は、予算比3・07%増の887億（2億8447万円の増）。
職金の増による。
③管理経費支出は、予算比3・15%増の71億（1・24億円の減）。
家計急変奨学生、災害見舞奨学生、育友会奨学生等の減。
・奨学費支出：15億3371万円（1・24万円の減）
・準備品費支出：3911万円（1258万円の増）
・光熱水費支出：億1827万円の増）
・修繕費支出：4797万円（1532万円の増）
・委託費支出：15億7568万円（3890万円の減）
会計士講座等各種課外講座、図書館関覧業務、受託研究委託業務、教学事務所管入材派遣業務、伊勢原雨天体育場建物耐震診断調査、石巻通学支援バス運行委託費等の減。
・謝礼費支出：8772万円（1338万円の減）
授業料目外部講師謝食堂洗浄機修繕等の増。
・公租公課支出：5805万円（1830万円の増）
消費税等確定申告額の増。
④借入金等利息支出は、予算どおりで155万円。
⑤借入金等返済支出は、予算どおりの返済で4億7777万円。
⑥施設関係支出は、予算比6・81%増の932万円の増。前年度比では3・98%の減。
（主な施設等整備事項）
専修大学
(1)神田2号館教室換気設備改良工事(2)生田8号館屋上階段足元灯設置工事
〔石巻専修大学〕
(1)1号館実験室及び端末室空調機更新工事(2)1号館教室及び廊下等照明器具交換工事(3)2号館実験室空調機更新工事(4)5号館コンピュータ室空調機更新工事(5)体育館男女更衣室空調機更新工事
⑦設備関係支出は、予算比0・36%増の1444億5291万円（前年度比遅延等による減。
・光熱水費支出：8億1887万円（2億8447万円の増）
・消耗品費支出：2億8825万円（1906万円の減）
公務員試験講座教材費、印刷物の削減による
・図書資料費支出：億6947万円（1523万円の減）
洋雑誌出版減及び納品遅延等による減。
・光熱水費支出：8億1887万円（2億8447万円の増）
・修繕費支出：1億3725万円（3・140万円の増）
神田1号館窓ガラス交換及び給水管漏水補修、神田1―3号館1階広場タイル補修及び開閉屋根